

山梨県で学校の先生になろう！（先輩教員の声）



山梨市立笛川小学校

教諭 小林宏美

令和5年度採用

山梨県出身

◆学校の先生になった理由

ふと、何かまったく違う仕事にチャレンジしたくなり、これまでの社会人経験から「社会に出て生きていく上で大切なことは何か」を私なりに子どもたちに伝えることができたらと思い先生になりました。このご時世ですので、安定も目指すきっかけのひとつでした。

◆学校の先生の「やりがい」や「魅力」

特別支援学級の担任なので、クラスの児童一人一人と深く関わることができるのが魅力です。嬉しい、楽しい、つらいという気持ちに敏感に気づいてあげられるように心がけています。

◆先生になって「楽しかったこと」や「感動したこと」

運動会で、一生懸命ダンスを踊る姿を見て感動しました。何度も練習を重ねて本番で堂々と披露している姿を見て、子どもたちの成長を感じることができ、とても嬉しかったです。

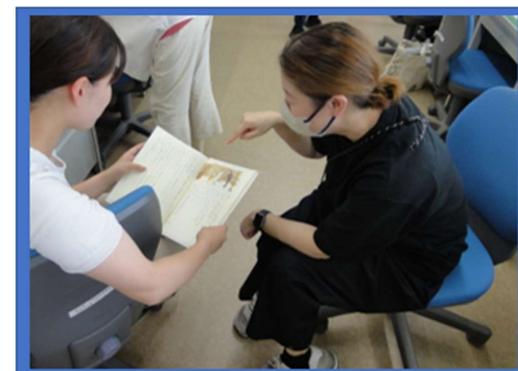
◆学校の先生として心がけていること

子どもたちの気持ちに気づいて寄り添うことを心がけています。固定概念にとらわれず、その子にあったやり方やペースなどを常に意識しています。

◆わたしの学校（職場）の雰囲気

職員同士の仲がよいと思います。分からないことは気軽に相談できますし、解決のために一緒になって考えてくれる同僚ばかりです。

また、意見の違いができることもありますが、その際は、とことん話し合っ解決に導いていける強い信頼関係が築けています。



◆先生になる前とのイメージの違い

先生は授業を教えるイメージが強かったのですが、それ以外の仕事がたくさんあることに驚きました。子どもたちとよい授業を創るために、いくつもの研修に積極的に参加したり、様々な教材や提案資料を作成したりするなど、子どもの学習環境や学習内容を充実させるために、授業以外でも日々奮闘しています。

◆退勤後や休日の過ごし方（私のリフレッシュ法）

よく寝ています。寝ることで体力回復をはかり、休み明けの仕事に全力投球です。勉強会に参加することもあります。

◆小林先生の1日

出勤	5：30に起床。7：00頃に出発して8：00頃に出勤します。
朝の会	担当している児童がいる2・3・4年生の教室を回って連絡帳と宿題を受け取り、朝の児童の様子を把握しています。
授業	基本的に1時間の中で2つの学年の児童を指導しています。45分の中で個々の理解が深まるように授業を組み立てます。
給食 昼休み	3年生の子を中心に給食指導を行います。昼休みは連絡帳に返信を書いたり、宿題の用意をしたり、生徒指導を行ったりします。
掃除	児童がそれぞれの役割をしっかりとできるように、特別支援学級の教室や廊下の掃除を指導しています。
授業	疲れているかどうかなど、その日の子どもの様子を観て、授業の進め方を調整します。リラックスできる時間を設けることもあります。
帰りの会	帰りの会が行われている各教室へ行きます。連絡帳と宿題を配り、自分の力だけは支度することが難しい場合には自立のための支援をします。
放課後	次の日の授業準備や関係機関等へ提出する書類などについての事務処理を行います。授業で使う教材教具の用意、各学年の授業範囲の確認など多岐にわたります。
退勤	

◆山梨県のよさ

フルーツがおいしいところ(買わなくても誰かがくださいます)、気軽に都内に出やすいところ、おいしいパン屋さんが多いところです。

◆山梨県の学校の先生を目指す方へのメッセージ

教員という職業は、とてもやりがいがあります。でも、やりがいだけでうまくいくわけではありません。苦しいこと、つらいことも山ほどあります。しかし、これはどの職業も同じです。

教員には、つらいこと、うまくいかない時に手を差し伸べてくれる仲間がたくさんいて、子どもたちのキラキラとした笑顔を見ることが出来ます。きっとこの世界に入ってよかったと思ってくれると信じています。ぜひ一緒に働きましょう。



社会人での経験を活かして、
笛川小教員用「チームTシャツ」
を小林先生がデザインしました。